

平成31年度 京都市立百々小学校 学校経営方針

①学校教育目標

**学び合い、つながり合い
～安心と自信に満ちて主体的に学び、
持続可能な社会の創り手となる子～**

②めざす学校像

安心・信頼・自信があふれる学校

- 授業が分かる、できる安心 ○友達と分かり合える安心 ○教職員に頼れる安心
- 地域とつながる安心 ○協働・協同できる安心



③安心と自信に満ちて主体的に学び、持続可能な社会の創り手となる子ども像とは…

—確かな学力—

「すすんで授業を楽しむ子」

—豊かな心—

「決まりを守り自分も人も大切にする子」

—健やかな体—

「心身ともに元気に過ごす子」

PDCA

【子どもの育ちを支える教職員集団像】

「全員で真剣に子どもたちと関わり、チームとして共に高まり合える教職員集団」

相互理解・課題共有 協力参加・情報発信

学校運営協議会

家庭・PTA

地域各種団体

④学校教育目標を実現するための指導の重点と具体的な取組

○確かな学力の定着

- ①校内研究を「核」とした組織的、系統的な授業、取組を行う。
- ②「分かる」「できる」「楽しい」が実感できる普通授業の充実を図る。
- ③家庭と連携して、自学自習の習慣化を図る。
- ④保幼小中連携の充実を図り、9年間+αの学びの連続性を意識して取り組む。
- ⑤総合育成支援教育の視点で学習支援の充実を図る。

○豊かな心の育成

- ①人権教育の年間計画を作成し、日々の指導を充実させ、児童の人権意識の高揚を図る
- ②特別の教科「道徳」について、中学校ブロックで連携しながら高めたい価値について共有する。
- ③ルールやマナーを守ることの重要性についての規範意識の育成を図る。
- ④クラス集団、学年集団、たてわり集団等、集団の中の姿を意識し、好ましい集団作りを行う。
- ⑤PTA、地域、各種団体、近隣保育園、幼稚園、小学校、中学校等、多くのつながりを意識できるような取組の充実を図る。

○健やかな心と体の育成

- ①体を動かす爽快感、達成感を味わえるような体育の授業の充実を図る。
- ②飲酒、喫煙、薬物の有害性を説く。
- ③自身を守る知識を身に付け、適切に行動できる安全教育の充実を図る。

○子どもの学び育ちを支える教職員のあるべき姿、体制を目指して

- ①一人一人の子どもたちを大切にする校内体制の確立を図る。
- ②学年主任を中心とした学年運営を行う。
- ③教職員間で、様々な情報を共有し共通実践に生かす。